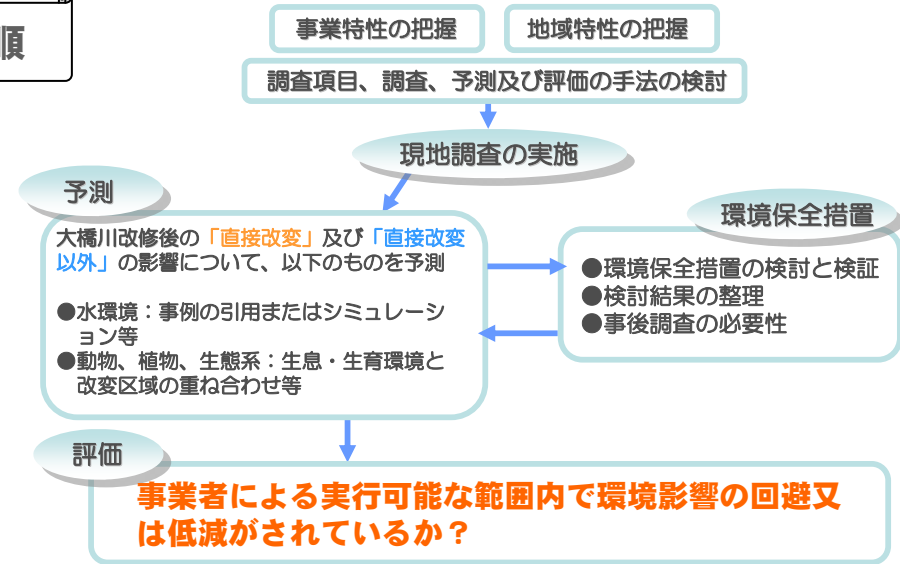
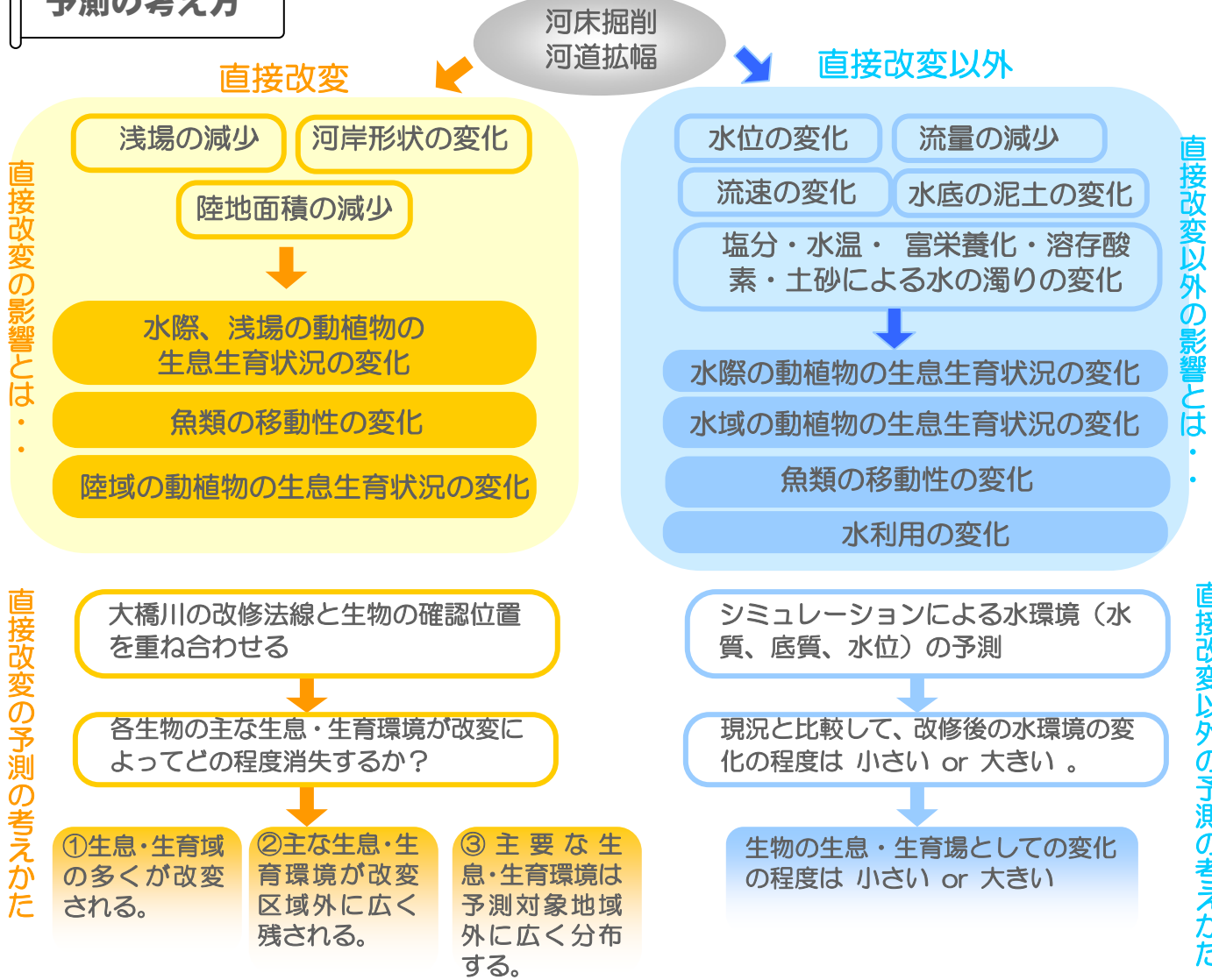


環境調査の手順



予測の考え方



直接改変の影響とは...

直接改変の予測の考え方

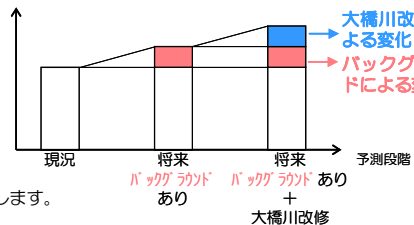
直接改変以外の影響とは...

直接改変以外の予測の考え方

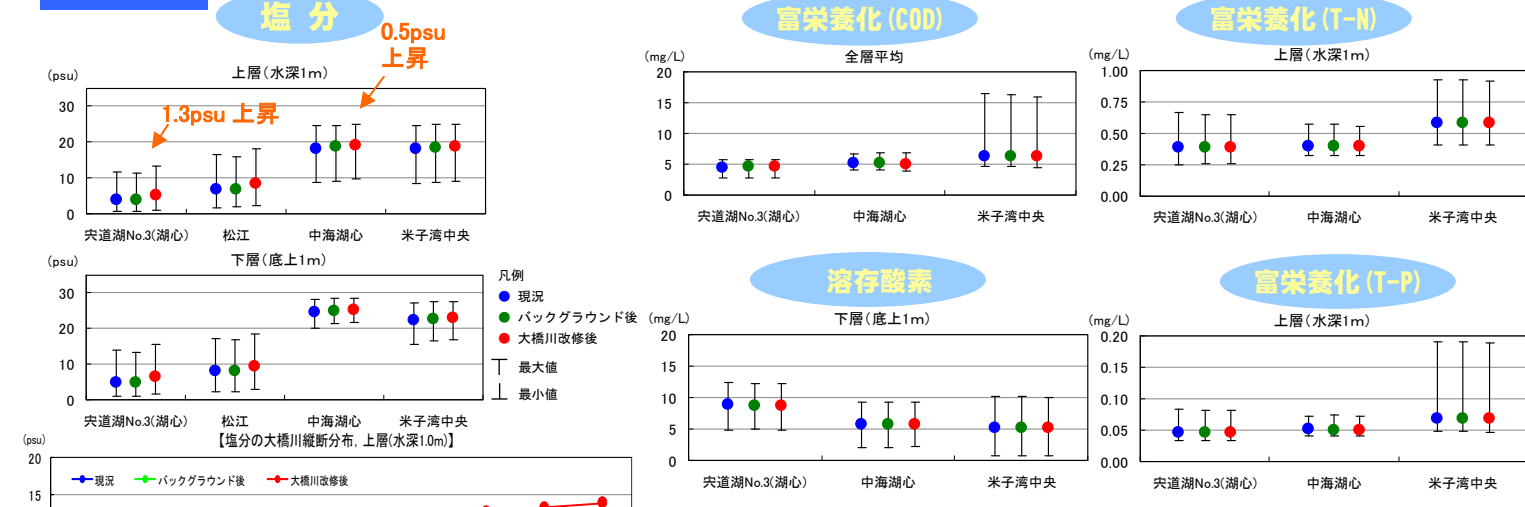
バックグラウンド*について

- 尾原ダムおよび斐伊川放水路の供用
- 佐陀川計画流下能力断面確保
- 中浦水門及び西部承水路堤防の撤去
- 森山堤防の開削（60m）

*上記の「斐伊川流域において計画されている関係事業が完成された状態」を意味します。

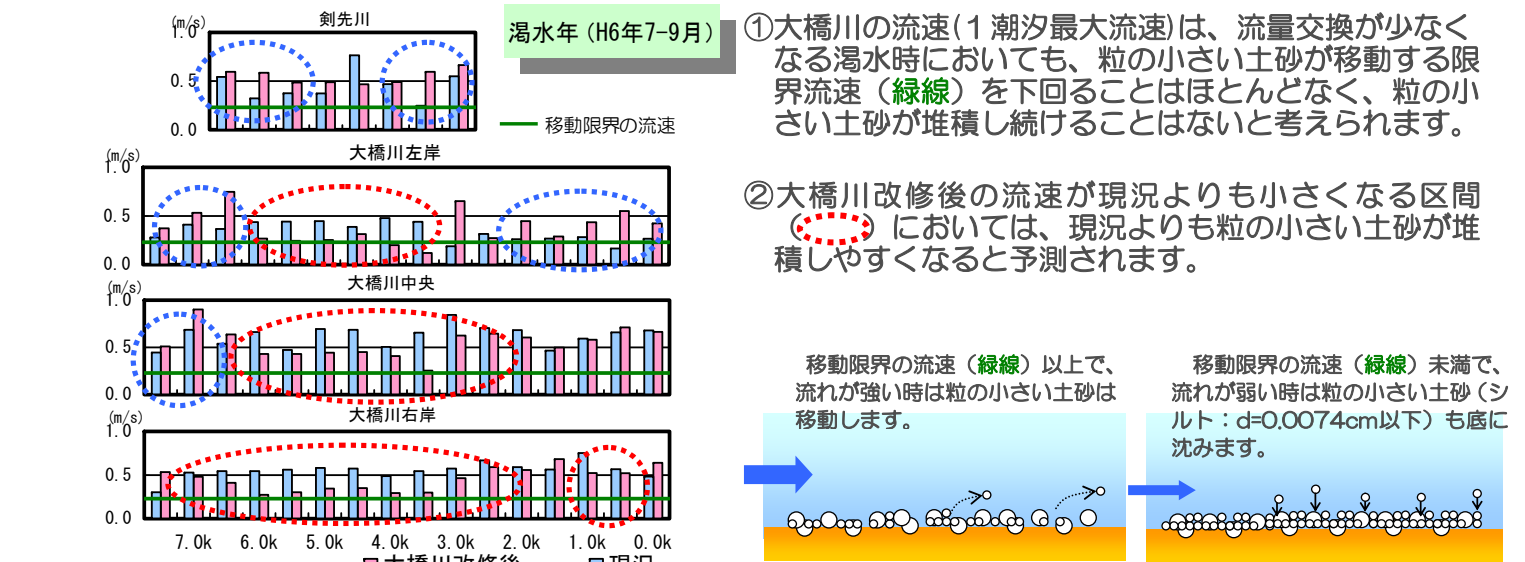


水質



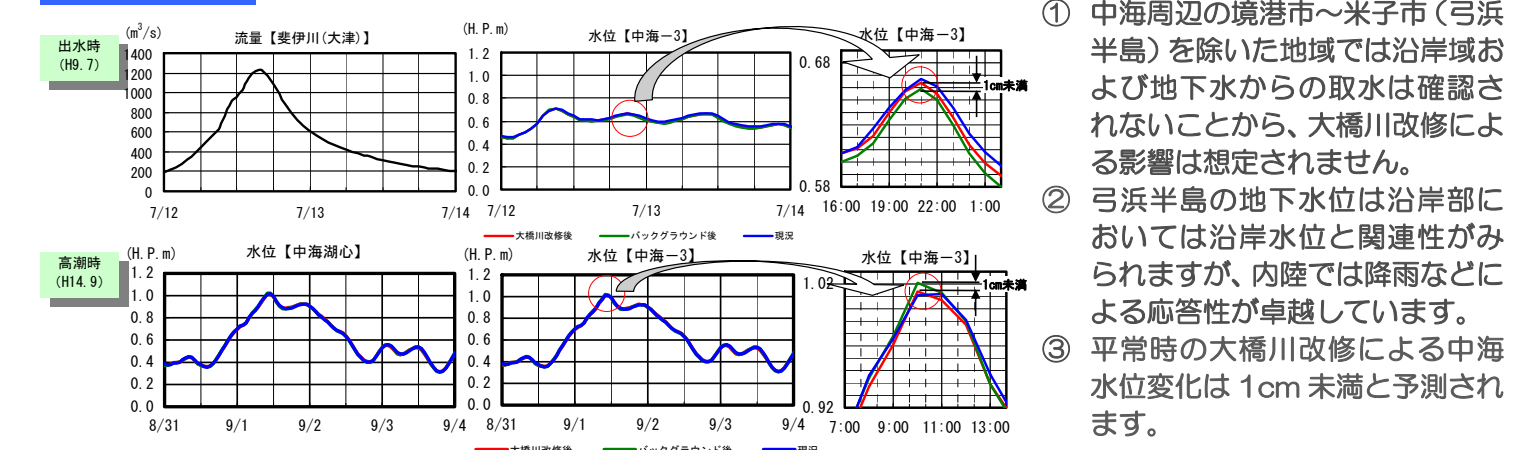
- ① 水環境の項目のうち、塩分については、大橋川改修により、穴道湖 No.3（湖心）上層で 1.3psu、中海湖心上層で 0.5psu 上昇すると予測されます。
- ② その他の水質項目、底質及び水利用については変化は小さいと考えられます。

底質



- ① 大橋川の流速（1 潮汐最大流速）は、流量交換が少なくなる渇水時においても、粒の小さい土砂が移動する限界流速（緑線）を下回るとはほとんどなく、粒の小さい土砂が堆積し続けることはないと考えられます。
- ② 大橋川改修後の流速が現況よりも小さくなる区間（赤線）においては、現況よりも粒の小さい土砂が堆積しやすくなると予測されます。

水利用



- ① 中海周辺の境港市～米子市（弓浜半島）を除いた地域では沿岸域および地下水からの取水は確認されないことから、大橋川改修による影響は想定されません。
- ② 弓浜半島の地下水位は沿岸部においては沿岸水位と関連性がみられますが、内陸では降雨などによる応答性が卓越しています。
- ③ 平常時の大橋川改修による中海水位変化は 1cm 未満と予測されます。

※調査結果及び予測結果の詳細については、巻末に記載した閲覧場所にて、本編をご覧ください。